スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

群馬県桐生市

自 治 体 名 ： 群馬県桐生市
担 当 課 名 ： 教育委員会教育環境課
電 話 番 号 ： 0277-46-6423

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	274.45㎢
人口	99,774人
公立中学校数	10校
公立中学校生徒数	1,947人
部活動数 （運動部活動のみ）	100部活
地域クラブ活動数	1クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

【現状・課題】

〈現状〉

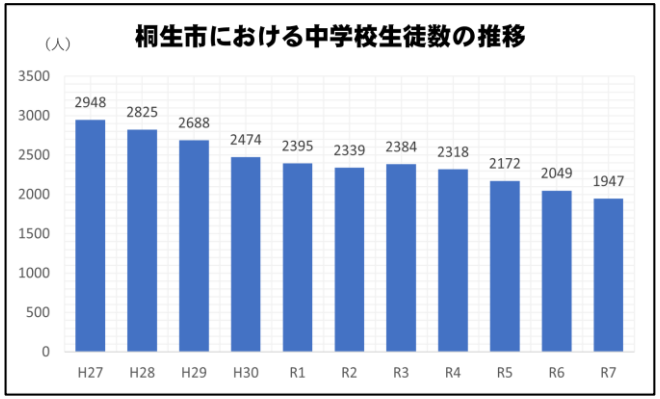
令和7年度公立中学校・義務教育学校後期課程の生徒数は、1,947人であり、平成27年度からの10年間で1,001人（34%）減少し、今後も少子化による生徒数減少が見込まれる。

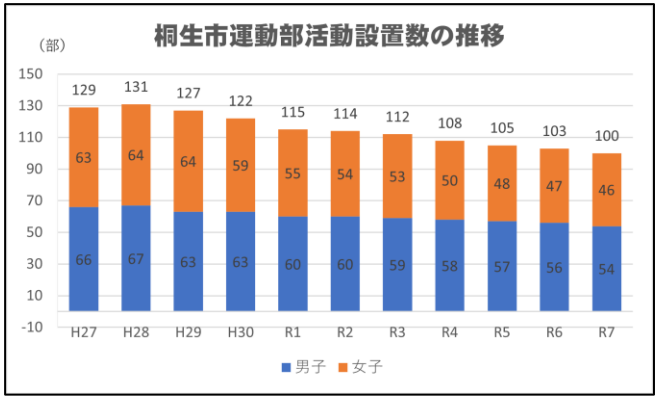
公立中学校の運動部活動設置数は、平成27年度からの10年間で29部減少した。また、桐生市中学校体育連盟における令和7年度の合同チーム数は、2校での合同チームが5チーム、3校合同での合同チームが3チームあり、合同チーム数は年々増加している。

本市では、令和5年度に「桐生市立中学校部活動運営の在り方検討委員会」を設置し、この検討委員会での協議を踏まえ、地域クラブ活動へ円滑に移行できるよう「桐生市における学校部活動の地域連携及び地域クラブ活動への移行に向けた推進計画」を令和6年3月に策定した。

〈課題〉

- 費用について：地域スポーツクラブに所属して活動するための会費の金額について保護者の意識に温度差が生ずる可能性があり、理解と協力を求めていくことが必要である。
- 指導者の確保について：指導者の推薦にあたり協力を仰いでいる桐生市体育協会所属の競技団体の会員数の減少や、高齢化に伴い、指導者が不足している現状がある。





2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図

【桐生市教育委員会】
　実証事業に係る指導者の委嘱・派遣、活動に必要な用具の提供
【NPO法人あいおいスポーツクラブ（総合型地域スポーツクラブ）】
　実証事業運営団体（理事長は桐生市立中学校部活動運営の在り方検討委員会委員）
【桐生市スポーツ・文化振興課スポーツ振興係】
　桐生市体育協会（バレーボール協会）との調整・練習会場提供
【桐生市バレーボール協会】／指導者の推薦
【桐生市中体連会長】／地域展開に係る相談役
【桐生市中体連バレーボール部】／地域展開に係る調整・検討
【桐生市立相生中学校長】／実証事業に係る会場提供・相談役
【桐生市中学校長会】／地域展開について生徒・保護者に周知・広報支援

●行政組織内での役割分担

◉桐生市教育委員会（教育環境課）
・実証事業に係る指導者の委嘱・派遣、活動に必要な道具の提供
・指導者の保険加入　・講師謝礼の支払い
・桐生市立中学校部活動の在り方検討委員会事務局

◉市長部局（スポーツ・文化振興課）
・桐生市立中学校部活動の在り方検討委員会事務局

年間の事業スケジュール

4月11日	部活動地域展開運営打合せ （あいおいスポーツクラブ、桐生市教育委員会） →以降、随時打合せ
4月16日	部活動地域展開運営打合せ （あいおいスポーツクラブ、相生中学校管理職） →以降、随時打合せ
4月22日	R7中学校体育連盟登録関係打合せ （あいおいスポーツクラブ理事、責任者）
4月26日	県中体連バレーボール部　県登録準備・説明 （あいおいスポーツクラブ理事、県バレーボール部長） →登録メンバーが揃わず、登録見送り
6月4日	バレーボール練習打合せ （あいおいスポーツクラブ理事、指導者） →以降、随時打合せ
6月8日	あいおいスポーツクラブバレーボール練習開始
11月8日	ヤングジュニアバレーボール交流大会参加 （バレーボール協会主催大会）
12月16日	地域展開に向けたモデル事業（バレーボール）の実施に係る会議 （市教委、市スポーツ・文化振興課、あいおいスポーツクラブ、市協会、市中体連会長、バレーボール責任者）
2月26日	あいおいスポーツクラブ令和8年度説明会 （あいおいスポーツクラブ、市教委、責任者）
3月～	あいおいスポーツクラブ（バレーボール）練習参加体験
3月末	あいおいスポーツクラブ参加申込締切（1次締切）

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		1クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		1クラブ
	B：部活動にはない種目など、新規の地域クラブ活動数		0クラブ
全体の指導者数	6人	全体の運営スタッフ数	24人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
あいおいスポーツクラブ	NPO（特定非営利活動法人）総合型地域スポーツクラブ	バレーボール	・平日　週に2回 ・休日　月に1回	19:00 ～21:00	中1　5人 中2　5人 中3　9人	6月～3月 （令和7年度）	6人	0人	継続 4,000円 /年額 新規 5,000円 /年額	協会主催大会：地域クラブ

③その他、体験会やイベント等の開催実績

R8.2.26　新規会員向け説明会
R8.3　　練習体験会

2.実証内容と成果

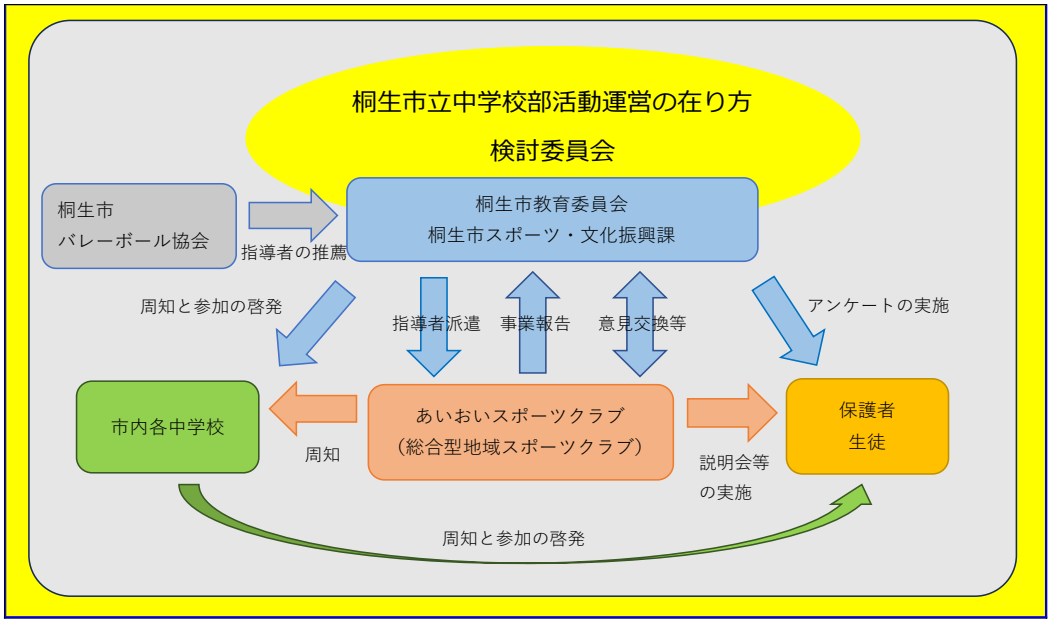
スポーツ庁

主な取組例

●あいおいスポーツクラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バレーボール
運営団体名	NPO法人あいおいスポーツクラブ
期間と日数	月8回程度
指導者の主な属性	桐生市バレーボール協会員
活動場所	桐生市立相生中学校 桐生ガススポーツセンター （桐生市民体育館）
主な移動手段	保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	（継続）4,000円 （新規）5,000円
1人あたりの保険料	団体総合保障制度費用保険 生徒1人あたり：1,687円/年 ※団体保険のため、人数割りにした 総合生活保険（傷害補償） 指導者1人あたり：6,860円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●桐生市教育委員会

役割：実証事業に係る指導者の委嘱・派遣、活動に必要な用具の提供を行う

●統括責任者

役割：桐生市教育委員会とあいおいスポーツクラブ指導者との調整を行う

●主任指導者　1名

役割：指導者のまとめ役であり、会員から会費を徴収するなど、事務的な役割も担う

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

- 指導者は、桐生市バレーボール協会からの推薦を受け、市教育委員会が外部指導者として委嘱し、実施運営団体であるNPO法人あいおいスポーツクラブへ派遣した。
- あいおいスポーツクラブのコンセプトの一つである「スポーツは勝ってこそという考え方だけでなく、会員がスポーツを楽しめる環境作りに取り組むこと」がある。このコンセプトや「運動部活動の在り方に関するガイドライン」を、指導者に周知徹底し、生徒にとって望ましい指導ができるよう共通理解を図れるよう、定期的に話し合う機会を持った。

取組の成果

- 大会参加にあたっては、専門性の高い指導者による的確な指導と配慮が行き届いていたことで、生徒自身が満足のいく結果を残すことができた。
- 指導者たちは、バレーボール経験年数が長いため、「教え方が分かりやすい」「いろいろな練習方法が学べて楽しい」「地域の人が教えてくれるので身近な感じがする」などの意見を、生徒や保護者から聞くことができた。
- 指導者研修だけの時間は特別に設けなかったが、2週間に1回程度、あいおいスポーツクラブ理事、責任者、指導者が集まり、打合せを丁寧に行ったことにより、練習の方針・目的等を共通理解し、指導者の意識が統一された。

今後の取組における課題

- 活動回数を増やしていくにあたり、指導者と練習会場を確保すること。
- 指導者の資格取得に伴う費用が自己負担になっていること。また、その時間（期間）を割いてもらわなければならないこと。
- 大会に参加するにあたり、帯同審判が必要な場合もある。そのため、指導者に審判資格も取得してもらわなければならないこと。

課題への対応方針

- 指導者を確保するために、引き続き桐生市バレーボール協会と指導者の情報交換を行う。また人材バンク等を活用していく。
- 指導者の資格取得のためにかかる費用について、指導者の負担軽減をどのように図るべきか検討していく。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

多様な人材の発掘・配置に向けた取組

- 市教委が桐生市バレーボール協会に推薦を依頼、外部指導者として委嘱し、実施運営団体であるNPO法人あいおいスポーツクラブへ派遣した。
- あいおいスポーツクラブで以前から活動していた方に依頼し、指導者を引き受けていただいた。
- 公務員である指導者には、指導者の所属長宛、委嘱への理解をいただくため、依頼文を送付。

平日・休日の一貫指導に関する取組

あいおいスポーツクラブ理事とバレーボール責任者を中心に、指導者を含めて、練習計画・指導方針等を定期的に打合せの機会を設け、確認した。
（練習日・練習会場の確認、練習内容の相談、大会参加へ向けての取組等）

指導者の資格取得促進に向けた取組

あいおいスポーツクラブでの指導にあたる上で、資格取得を推奨し、指導者本人が
自主的に資格を取得している。（公認バレーボールコーチ1）
資格取得に伴う費用は、自己負担となっている。
今後、指導者が資格を取得しやすいように、資格取得に伴う費用の支援を検討していく。

指導者総数	6人
資格所持指導者数	3人
本年度資格を取得した指導者	1人

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

バレーボール部がない学校の生徒に活動の場を提供するため、市教委、市スポーツ・文化振興課、あいおいスポーツクラブ、桐生市バレーボール協会、あいおいスポーツクラブバレーボール指導者代表、桐生市中体連会長等が集まり、協議・検討を行い、モデル事業をスタートさせた。

事業を展開していくにあたり、あいおいスポーツクラブ担当理事と頻繁に打合せを行い、体制を整えた。

さらに、あいおいスポーツクラブでの活動を充実させるため、桐生市立中学校部活動の在り方検討委員会や地域展開に向けたモデル事業（バレーボール）の実施に係る会議を開催し、今年度の活動報告を行い、来年度に向けた体制を整えたり、方針の確認をしたりした。

取組の成果

- あいおいスポーツクラブ担当理事と頻繁に打合せを行い、現状や今後の課題が双方で把握できた。
- 来年度の方向性を決定する桐生市立中学校部活動の在り方検討委員会では、様々な立場の方から意見をいただき、バレーボールの事業継続に加え、新たにバスケットボールの活動も展開していく準備ができた。
- 市スポーツ文化・振興課と連携し、練習会場として桐生市民体育館を確保し、使用料も減免することで、より良い環境で練習を行うことができた。

今後の取組における課題

- 市教育委員会とあいおいスポーツクラブとの間では綿密に打合せ等を行うことができたが、市長部局のスポーツ文化・振興課、桐生市バレーボール協会との連携はあまり図ることができなかった。
- 中体連大会への参加を見据えて体制の整備・県中体連への登録準備などを行ったが、まだ、部活動と並行して活動している会員が多く、県中体連への登録は、参加希望人数が試合規定人数に達しなかったため、中体連への登録、大会参加は叶わなかった。

課題への対応方針

- あいおいスポーツクラブと打合せをした内容等を、スポーツ文化・振興課や桐生市バレーボール協会とも情報共有し、連携を深めていく。
- 今後も県中体連大会への参加希望者が集まった場合、登録がスムーズに進むように体制は整えておく。
- 来年度から部活動の地域展開コーディネーターを任用し、関係団体とのパイプ役を担ってもらう。

関係団体等との連携に関するスポーツ推進委員の取組

- 桐生市体育協会メンバーの桐生市バレーボール協会に推薦いただいた指導者を、市教委が外部指導者として委嘱し、実施運営団体であるNPO法人あいおいスポーツクラブへ派遣した。
- 市教委、市スポーツ・文化振興課、あいおいスポーツクラブ、桐生市体育協会、桐生市バレーボール協会、あいおいスポーツクラブバレーボール指導者代表、桐生市中体連会長等が一堂に集まり、本年度の実証事業の成果を確認し、来年度へ向けて協議、検討を行い、方針について共通理解を図った。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

取組事項

クラブの方針として、現在、受益者負担を原則としつつも、可能な限り安い会費で運営している。しかしながら、部活動の地域移行を進めるにあたり、子どもたちにとって望ましいスポーツ環境の構築のためには、現状のままでは、運営が立ち行かなくなる可能性があるため、適切な会費設定を探っていく。

取組の成果

- 指導者の謝礼や会場の使用料、練習用具の調達を桐生市が負担したため、低廉な会費設定のまま据え置いて活動してきた。

今後の取組における課題

- 生徒の移動時にかかる怪我だけでなく、保護者が送迎した際の事故に対してもカバーできる保険に加入するにあたり、保険料が高くなってしまったこと。
- 大会に参加する際にユニフォームが必要となった場合の費用負担。

課題への対応方針

地域展開に係るスポーツクラブ会員の会費を値上げすることとしたが、保険料や大会参加費等を捻出できる最低限の値上げに留めた。
今後、大会への参加希望が増え、中体連大会にも参加できるようになった際は、受益者負担を原則としつつも、負担軽減をどのように図っていくか検討していく。

●収入

項目	費用	割合
県委託金	429,988	83%
市費	90,000	17%
合計	519,988	—

収支バランス

・子どもの保険料は会費から賄われた。
・大会参加料等も会費から賄われた。
・大会はビブス着用で参加可能であったため、ユニフォーム等は購入せずに済んだ。今後は、ユニフォームを個人で購入するか、クラブで購入し貸与する方法をとるかが検討課題である。

●支出

項目		費用	割合
地域クラブ活動費		519,988	100%
	諸謝金（指導者）	264,000	51%
	会場使用料	0	—
	消耗品費	221,688	42%
	印刷製本費	0	—
	携帯電話レンタル料	0	—
	雑役務	0	—
	生徒保険料		—
	指導者保険料	34,300	7%
事務局運営費		0	0%
	謝金	0	—
	会場使用料	0	—
	スポーツ教室開催費	0	—
	保険料	0	—
	人件費	0	—
	交通費	0	—
	印刷製本費	0	—
	消耗品費	0	—
	備品購入	0	—
	通信運搬費	0	—
	修繕料	0	—
	振込手数料	0	—
	一般管理費	0	—
	消費税相当額	0	—
合計		519,988	—

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

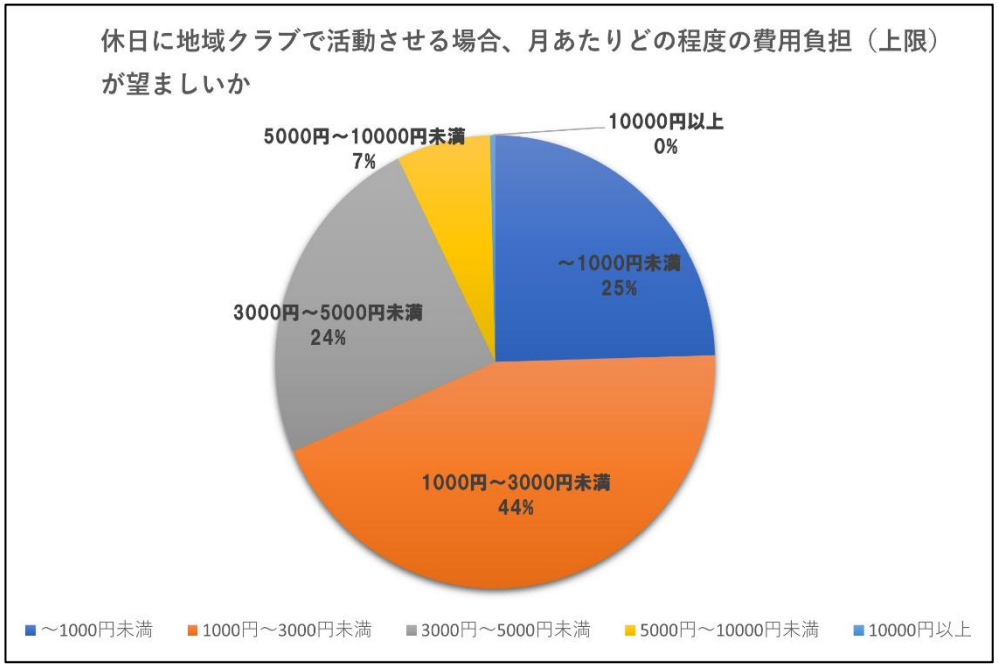
スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

持続可能な運営に必要な受益者負担額の試算

- 桐生市立各小・中・義務教育学校の保護者へのアンケート（令和6年度）で、「地域スポーツクラブ活動」の費用負担（指導者謝金や会場使用料、生徒・指導者傷害保険等）について、月あたりいくらまでなら、家庭で負担してもよいと感じていますか」という質問に対して、1,000円～3,000円程度という答えが最も多い結果となった。
- あいおいスポーツクラブでは、これまで年会費を4,000円（保険料含む）としていたのを、本年度の活動を通して、来年度からは年間10,000円（保険料含む）と設定した。これは、保険料を抜いて考えると、月額約666円となる。これは、「保護者の負担してもよい」と感じる金額よりも低廉な金額を設定できていることとなり、保護者への負担も軽減できると考えられる。
- あいおいスポーツクラブの指導者への謝礼や、練習会場費用、練習道具の購入費などを市で負担をすることで、保護者の負担する費用を軽減できるようにした。



桐生市立各小・中・義務教育学校の保護者アンケート結果より（令和6年度）

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

「あいおいスポーツクラブのコンセプトや学校部活動のガイドラインを、指導者に周知徹底した上で、子どもたちにとって望ましい指導をできるよう共通理解を図りながら、本事業を進めていく」「中学校部活動の地域移行に伴う活動を踏まえた取り組みを、桐生市教育委員会と市スポーツ・文化振興課、あいおいスポーツクラブが連携して実施していくことで、市内及び近隣市町の子どもたちの受け入れ体制を構築していく」という目標を立て、本年度の方針の重点として取り組んできた。

特に力を入れた取組として、本年度は、あいおいスポーツクラブとの連携を進めていくことに重きをおいて実施してきた。そのために、あいおいスポーツクラブの担当理事と頻繁に打合せを行い、ひとつひとつ確認をしながら事業を進めた。実証事業1年目で、地域展開の受け皿のひとつとなる地域スポーツクラブの体制を構築するという点では、目標を達成することができたのではないかと考える。参加生徒や保護者からも好評であった。

指導者の確保という点では、市バレーボール協会にも協力を仰いだが、会員の高齢化に伴う減少などの理由で、引き受け手が少なく、指導者の不足を感じた。今後の最も大きな課題となっている。

●成果の評価

本年度は、実証事業1年目ということで、実施団体であるNPO法人あいおいスポーツクラブ（総合型地域スポーツクラブ）との連携に重きをおいて事業を進めてきた。あいおいスポーツクラブのコンセプトに「会員がスポーツを楽しめる環境づくりに取り組むこと」があり、今後の部活動地域展開において、受け皿の一つとなるように、地域の子どもたちが楽しくスポーツに携われるための体制構築を進めてきた。

地域の指導者が、専門的に指導をし、大会にも参加でき、生徒自身が満足のいく結果を残すことができたり、「教え方が分かりやすい」「いろいろな練習方法が学べて楽しい」「地域の人が教えてくれるので身近な感じがする」などの意見を、生徒だけでなく、保護者からも聞いたりすることができた。今後も地域の指導者が地域クラブを指導することの利点を生かし、更に充実した活動となるようにしていきたい。

●今後に向けて

- 指導者の確保や、指導者が資格取得にかかる費用の負担軽減についてもこれからの課題として取り組んでいく。
- あいおいスポーツクラブでの競技は、本年度はバレーボールのみであったが、来年度からはバスケットボールの活動も展開する。バレーボールでの取組の成果や課題を踏まえ、バスケットボールでも中体連への大会参加を見据えて活動を実施していきたい。
- 取り組む競技や練習回数を増やしていくにあたり、指導者や練習会場を確保するため、積極的に市スポーツ・文化振興課や各協会とも連携を行っていく。

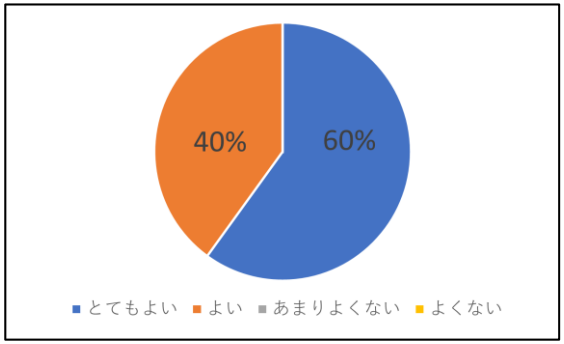
2.実証内容と成果②

スポーツ庁

アンケート結果・参加者/関係者の声

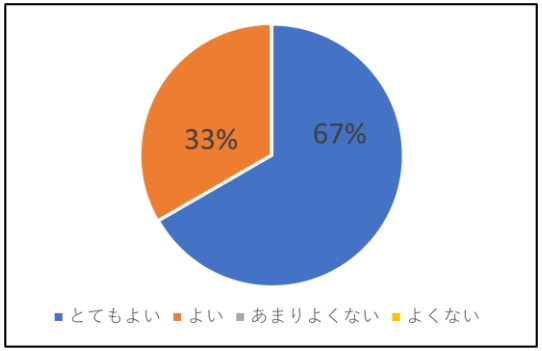
●アンケート結果

Q.参加した「地域スポーツクラブ活動」において、地域の指導者が指導することについてあてはまる気持ちと理由を教えてください。（参加生徒アンケート）



【理由】
・色々な指導者との交流が増えていい。
・たくさんの指導者が教えてくれることで、たくさんのコツを知ることができる。
・教え方がとても分かりやすい。
・部活動で学べること以外も教えてもらえる。
・色々な練習方法を学べるから上達できる。

Q.「地域スポーツクラブ活動」で、地域の指導者が指導することについてあてはまる気持ちと理由を教えてください。（保護者アンケート）



【理由】
・部活では、専門でない先生が指導していることもあるので、必要なことをしっかり教えてもらえるのでよい。
・いろいろな練習方法が学べてよい。
・地域の人が教えてくれるので、身近な感じがする。
・経験者の方が指導してくれるので上達できる。
・経験豊富な指導者から直接指導を受ける機会が増え、技術や知識の向上に繋がる。

●参加者/関係者の声

参加生徒①
違う学校の子とプレーができたり、交流ができたりするので、よいと思います。
コミュニケーションや他の学校のことを知ることができて楽しいです。

参加生徒②
学校の部活にバレーがなかったから、入れてよかった。
心配だった点は、他校の生徒との関わり。

保護者
・学校の先生の負担が少なくなるのはよいと思う。
・毎日ではないので、運動量が少なくなること、送迎の負担が多くなるのではないかと心配・不安。

指導者
・初心者と競技経験者、部活動以上に力を入れてやりたい子の差があり、一緒に練習をするのが難しい。
・練習での怪我や移動中の交通事故等の対応について心配がある。
・子どもの成長が見られるので、やりがいを感じている。

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

参考資料



【あいおいスポーツクラブ（相生中）での練習風景】



【あいおいスポーツクラブ（市民体育館）での練習風景】



【協会主催大会へ参加】



【協会主催バレーボール大会での試合の様子】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年	令和6年	令和7年		令和8年
桐生市立中学校部活動運営の在り方検討委員会設置	あいおいスポーツクラブでの活動（バレーボール）を検討	生徒、保護者への周知・説明（新入学生説明会等）	あいおいスポーツクラブでの活動開始（バレーボール）	新規事業（バスケットボール）のための検討	活動の拡大（継続：バレーボール）（新規：バスケットボール）

●ステークホルダー

桐生市教育委員会

●経過

在り方検討委員会を開催し、地域展開に向けて推進計画等を策定した。あいおいスポーツクラブとの話し合いを重ね、令和7年度からの事業実施に向けて令和6年度の夏から予算計上等、体制を整備した。

●実施にあたって生じた課題

指導者を派遣するにあたり、中学校へ派遣している外部指導者の要綱を改正して対応しようとしていたが、対応しきれないことが判明し、新規制定に切り替えたこと。

●実施内容、工夫した点 等

指導者の委嘱・派遣、活動に必要な用具の提供。あいおいスポーツクラブ担当理事と頻繁に打合せを行い、現状や今後の課題等を双方で把握できた。

●ステークホルダー

NPO法人あいおいスポーツクラブ

●経過

令和6年度の夏から何度も打合せを重ねた。バレーボール部の設置がない中学校の新入学説明会において、活動について説明を行い、会員を募った。

●実施にあたって生じた課題

指導者が資格を取得をするために要する費用は全額自己負担であり、取得するまでに時間（期間）も費やしたこと。
大会参加の引率は、指導者の拘束時間が長くなってしまうこと。
移動中の怪我等にも対応できる保険に加入したため、今までの年会費では足りなくなってしまったこと。

●実施内容、工夫した点 等

バレーボールの活動を展開する上で、参加会員の希望を聞きながら、協会主催の大会に参加をした。
あいおいスポーツクラブ担当理事と指導責任者を中心に、指導者たちが丁寧な打合せを定期的に行い、指導方針や意識の統一を図った。

●ステークホルダー

桐生市バレーボール協会

●経過

あいおいスポーツクラブで活動を展開するために、市教委、あいおいスポーツクラブ、桐生市バレーボール協会、関係中学校校長、中体連会長、市スポーツ・文化振興課とで話し合いを行った。指導者の推薦を担うこととなった。

●実施にあたって生じた課題

協会員の高齢化に伴う減少により、指導者として協力できる会員がとても少なかったこと。

●実施内容、工夫した点 等

在り方検討委員会や、あいおいスポーツクラブでバレーボールを実施するための話し合いに参加し、今後の活動について考えた。
バレーボール振興に協力してくれるよう、会員に呼びかけた。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

年度	8	9	10	11	12	13
フェーズ	改革実行期間【前期】			改革実行期間【後期】		
方針	・桐生市立中学校部活動運営の在り方検討委員会の開催（年2回程度） ・中体連各競技部顧問の意向を調査 ・休日部活動の地域展開等が可能な部活動から実施 ・部活動指導員、外部指導者の活用 ・合同部活動・拠点校部活動の実施 ・地域クラブ活動の拡大（競技数の増加、地域クラブ数の増加） ・指導者の確保（人材バンクの活用、兼職兼業の円滑化等） ・関係者間の更なる連携・共同体制の構築 ・地域、学校、生徒・保護者等に向けた情報発信と現状把握			・桐生市立中学校部活動運営の在り方検討委員会の開催（年2回程度） ・中体連各競技部顧問の意向を調査 ・平日部活動の地域移行が可能な部活動から実施 ・地域、学校、生徒・保護者等に向けた情報発信と現状把握 ・拠点校部活動の実施 ・活動場所の確保、移動手段の検討 ・指導者育成制度の確立（指導者確保の安定化、研修等） ・持続可能な仕組み作り（財政支援・受益者負担の整理等） ・生徒の多様な活動機会を確保（スポーツ・文化活動）		
休日	原則、公立中学校で休日の地域クラブ活動への地域展開等を目指す					
平日	平日の地域クラブ活動への地域展開等をできるところから進めていく					